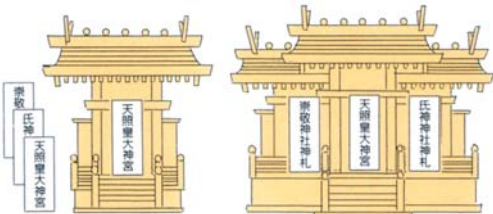


神棚のまつり方

(神棚の設け方)

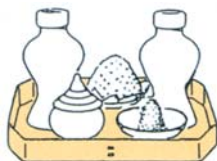
家の概ね中心で、明るく清らかな所に、南向きまたは東向きで、高い位置で尚かつ家族みんなが毎日拝みやすい所が最も良い場所といえますが、そうした場所におまつりできない場合には、最良と思われる場所におまつりしましょう。

また、新たに神棚を設ける場合には、宮形を据え、神職にお祓いをしていただき、それから神棚にお札をおさめます。



一社造りの場合

三社造りの場合



お米・お酒・塩・水を一台に供える例



お米・塩・水を一台に供える例

(御神札のまつり方)

三社造りの場合は、中央に神宮大麻、向かって右側に氏神様、左側に他の神社の御神札をおまつりします。

一社造りの場合は、奥より他の神社、氏神様、一番表に神宮大麻をおまつりします。

また、御神札の前には幣束をお供えします。

(神饌)

神饌は毎朝、米・塩・水を三方または折敷(とじめ)を手前に向ける(に)のせてお供えします。

毎月一日・十五日や、氏神様の祭日、その他一家の記念すべき日には、御神酒・野菜・果物

等もお供えしましょう。

また、季節の初物も、お供えた後、おさがりとして、家族一同でいただくようにしましょう。

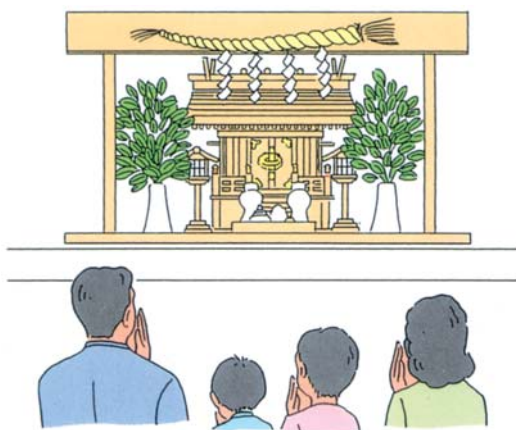
(お参りの仕方)

神饌をお供えして、神社にお参りするときと同じく、二拝二拍手一拝にてお参りします。

朝・夕には感謝をこめてお参りしましょう。

尚、お稲荷さん・水神さま(井戸)・竈神さま(勝手)・廁神さま(お手洗い)等にも幣束をお供えし日々のご加護を祈りましょう。

その他不明なところは地元の方、神社の神職にご相談下さい。



● 神宮大麻 ●

伊勢の神宮は、三重県伊勢市に鎮座しています。正式には「神宮」といい、親しみを込めて「お伊勢さん」とも呼ばれています。神宮は、皇室の祖先神である天照大御神をおまつりする皇大神宮(内宮)と、その大御神の食事を司り、衣食住をはじめ私たちの産業すべてをを守りくださる豊受大御神をおまつりしている豊受大神宮(外宮)を中心、別宮・摂社・末社・所管社を含め百二十五のお宮から成っています。

神宮大麻は、伊勢神宮のお神札のことで、「お伊勢さん」「お祓いさん」などとも呼ばれてきました。

お神札には、「天照皇大神宮」の神号に神璽が押され、毎年奉製され、氏神さまを通じて各家庭に頒布されています。